

**平成29年度
福島県地域創生総合支援事業
（サポート事業）
県南地方実績報告書**

福島県県南地方振興局

■ 一般枠

- ① 風評払拭！ふくしまで農活（表郷いいもの開発協議会）〔白河市〕
- ② 南湖公園魅力発信事業（白河 Fun humans）〔白河市〕
- ③ 白河ふれあいマーケット（（公財）白河観光物産協会）〔白河市〕
- ④ まるごと白河 2017（まるごと白河実行委員会）〔白河市〕
- ⑤ しらかわ地域文化継承事業（白河まつり振興会）〔白河市〕
- ⑥ ご当地アイドルによる県南地域活性化事業（矢吹町バンド連合会）〔矢吹町〕
- ⑦ 次世代によるローカルメディア創造事業（次世代によるローカルメディア創造事業実行委員会）〔白河市〕
- ⑧ ふくしまの「人と地域」の魅力発信事業（（特非）表郷ボランティアネットワーク）〔白河市〕
- ⑨ 街なかカルチャー教室 未来の担い手育成事業（街なかカルチャー教室実行委員会）〔白河市〕
- ⑩ 農商工連携事業「しらかわ応援団プロジェクト」（夢みなみ農業協同組合青年連盟しらかわ地区）〔白河市〕
- ⑪ 全国から「しらかわ」に集まれ！元気なジュニアゴルファー育成プロジェクト
（全日本小学生ゴルフトーナメント in しらかわ実行委員会）〔棚倉町〕
- ⑫ うつくしま絆づくりプログラム（うつくしま絆づくりプログラム実行委員会）〔矢吹町〕
- ⑬ ご当地グルメ対決！「県南 S-1 グランプリ in たいしん」（県南 S-1 グランプリ実行委員会）〔白河市〕
- ⑭ わくわく東白川ご当地キャラ祭 in たなぐら
（わくわく東白川ご当地キャラ祭 in たなぐら実行委員会）〔棚倉町〕
- ⑮ 日本のふるさと発見プロジェクト in 東白川（（特非）あぶくまエヌエスネット）〔鮫川村〕（過疎・中山間）

■ 集落等活性化枠

- ⑯ 小高ふれあいの森公園づくり（埴町小高区）〔埴町〕
- ⑰ 矢塚地区交流推進事業（（一社）矢塚明日香塾）〔埴町〕

■健康枠

- ⑮ 「しらかわの里山」魅力発信事業（しらかわ里山ネット）〔白河市〕
- ⑯ らふみーる（笑顔&食）コミュニティサロン（（一社）あんだんて）〔白河市〕
- ⑰ ツール・ド・しらかわ 2017（ツール・ド・しらかわ実行委員会）〔白河市〕
- ⑱ 駅伝のまち しらかわ 推進プロジェクト（しらかわ駅伝競走大会実行委員会）〔白河市〕
- ㉒ ゴルフで「しらかわ」の活力を高めるプロジェクト（NPO 法人ゴルフタウンしらかわ）〔白河市〕

■市町村枠

- ㉓ 定住自立圏復興人材確保・育成事業（「ふれあいの場」創出事業実行委員会）〔県南 9 市町村〕
- ㉔ しらかわ風評払拭・地域産業復興促進事業（白河市）〔白河市〕
- ㉕ いずみざき風評払拭・地場産品販路回復推進事業（泉崎村）〔泉崎村〕
- ㉖ やぶき観光復興推進事業（矢吹町）〔矢吹町〕
- ㉗ 棚倉町観光復興事業（棚倉町）〔棚倉町〕
- ㉘ 矢祭町復興人材確保・育成事業（矢祭町）〔矢祭町〕
- ㉙ 里山景観資源を活用した観光復興事業（鮫川村）〔鮫川村〕

(1) 風評払拭! ふくしまで農活

一般枠

新規

【実施団体名】 表郷いいものの開発協議会（白河市）

事業の目的

首都圏在住者を対象に、「農活」と題した農業講座（座学）で本県の現状や作物の作り方等を指導するとともに、白河市表郷地区を訪れ植付けから収穫までの農作業体験を実施した。また、収穫した農産物をメンバーが自ら首都圏で販売することで、原発事故から 6 年が経過してもいまだに残る県産農産物の風評を払拭を図った。

事業の内容

- 事業内容：
- ふくしまの農業の現状に係る講義@東京（5/19） 参加者 8 名
 - 野菜収穫・交流会@白河（7/31） 参加者 8 名
 - 稲刈り・野菜収穫@白河（10/31） 参加者 6 名
 - 野菜収穫・交流会@白河（11/30） 参加者 6 名
 - 野菜販売マルシェ@東京（12/9） 参加者 13 名
 - 閉校式（意見交換）@東京（1/20） 参加者 11 名

総事業費：	（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）				552	550
補助金				296	365

＜農作業体験の様子＞



＜農作業体験の参加者＞



事業の成果・効果

延べ 52 人の首都圏在住者が参加し、福島の実農場での農作業体験を通じて、楽しみながら農産物の安心を実感してもらうことができたと同時に、しらかわの魅力を発信することもできた。また、東京で開催したマルシェでは、自らが栽培・収穫した農産物の配布することは、通行人にも新鮮な印象を与えることができた。

今後の展開等

- 来県者を増やすための事業の展開
- ・いつでも農作業体験ができる体制の構築
 - ・マルシェの開催回数を増やす

(2) 南湖公園魅力発信事業

一般枠

新規

【実施団体名】 白河 Fun humans（白河市）

事業の目的

地域の宝である「南湖公園」の歴史性を維持向上させることで、行楽地としての賑わい創出を目指すとともに、その魅力を県内外に広く発信し、震災による風評の払拭と、交流人口の拡大を図った。

事業の内容

事業内容：

- 【春】太鼓と歌の競演（4/8）
- 【夏】講演会と環境保全（10/21）
- 【秋】南湖公園写真展（10/4～12/22）
- 【通年】南湖とその流域の調査（8/30～2/28）

総事業費：

（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）	－	－	7,563	－
補助金	－	－	5,000	－

<南湖公園写真展表彰式の写真>



<「南湖とその流域調査」発表会の写真>



事業の成果・効果

夏の講演会では、地元企業と連携することで、130 名を超える幅広い年代に参加いただき南湖を理解してもらうことができた。写真展では、様々な季節の風景を紹介することで、年間を通じた南湖の魅力を発信することができたほか、関係団体と連携することで東京の江戸資料館でも展示することができ、650 名の来場者があった。

今後の展開等

・地元住民や飲食店に対して、南湖への理解向上のための講演会の実施。

(3) 白河ふれあいマーケット

一般枠

新規

【実施団体名】 公益財団法人白河観光物産協会（白河市）

事業の目的

白河駅前イベント広場において、しらかわ（県南）地方で収穫された野菜、果物、地場産品等を扱う生産者などによる朝市「白河ふれあいマーケット」を開催し、生産者と地域住民の交流、地産地消の推進、中心市街地活性化を図った。

事業の内容

- 事業内容：
- 白河ふれあいマーケット@白河駅前イベント広場
 - ・開催日：6/25、7/30、8/27、9/24、10/15
 - ・県南地方の生産者等による青果物・加工品・飲食等の販売
 - ・しらかわ地方で活動する団体によるステージイベントの開催
 - 先進地視察による、自立に向けた運営形態の検討
 - ・11/25、開成マルシェ@郡山市

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)				1,486 (1,453)	1,560
補助金				779	810

<白河ふれあいマーケットの様子>



<地場産品を使用した朝食提供>



事業の成果・効果

14～20 店/回の出店、500 人以上の来場があった。新規の出店者もあり、イベントの定着とリピーターの確保が図られてきている。各地域の地場産品を使用した朝食の提供や県南地方で活躍する団体のステージ等を実施することで、生産者と消費者の交流、市内外の地場産品への理解と PR の効果があった。

今後の展開等

- ・出店者及び来場者を増加させるための環境整備と企画の検討。
- ・出店料の徴収による自主運営体制の構築。

(4) まるごと白河 2017

一般枠

新規

【実施団体名】 まるごと白河実行委員会（白河市）

事業の目的

白河ラーメンや白河蕎麦といった伝統的食文化を始めとする白河市内の食や伝統文化等を一堂に会するイベント「まるごと白河 2017」の開催や、SNS を使用した情報発信により、しらかわ（県南）地方の交流人口拡大及び観光誘客を図った。

事業の内容

事業内容：

- まるごと白河 2017@白河駅前イベント広場ほか（10/22）
 - ・ステージイベントの実施
 - ・白河市内を中心とした飲食の提供
 - ・ラーメン、そば等の提供による地元の食の PR
 - ・ゲストシェフによる白河ブランドの魅力発信
 - ・職業体験やはたらく車の展示
- 魅力発信事業@小峰城、南湖公園、白河関跡（8/9～2/28）
 - ・観光客による、SNS を活用した白河市の魅力や情報の発信

総事業費：

（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）			7,496	7,490
補助金			3,240	3,240

事業の成果・効果

「まるごと白河」は、荒天の影響により来場者数は 3,600 人にとどまったが、地域を代表する観光資源や食文化などを発信することができた。

＜「まるごと白河」企業ブースの様子＞



＜魅力発信事業で SNS に投稿する参加者＞



今後の展開等

- まるごと白河
 - ・白河市の食の魅力を発信し、市内店舗への再訪を促すきっかけを作る。
- 魅力発信事業
 - ・参加者が発信しやすい仕組みの構築。

(5) しらかわ地域文化継承事業

一般枠

新規

【実施団体名】 白河まつり振興会（白河市）

事業の目的

昭和 30 年代から踊り継がれ、震災を機に復活を遂げた「白河関の踊り流し」に、市内の企業や団体、住民、学生等の幅広い層に参加を呼びかけ、練習会を行い、8 月の関まつりで披露することで、地域コミュニティにおける絆づくり及び地域住民同士の交流を図った。

事業の内容

事業内容：

- 白河関まつり@小峰通り（8/6）
 - ・白河関の踊り流し 約 1,200 参加
 - ・県南地方 9 市町村の太鼓の競演
 - ・地元商店街等による夕市の開催

総事業費：

（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）			3,122	2,900
補助金			1,620	1,400

<白河関の踊り流しの様子>



<元気夕市の様子>



事業の成果・効果

市内の企業・団体から約 1,200 人が参加し、白河駅前通りで踊り流しを実施したことで、地域の活性化に寄与した。また、それに先立ち各団体に対し講習会を行い、文化の継承及び講師との交流を行うことができた。

今後の展開等

- ・参加団体間の更なる交流ができるような、合同練習会の開催。
- ・中心市街地の継続した活性化に向けた取組の模索。

(6) ご当地アイドルによる県南地域活性化事業

一般枠

新規

【実施団体名】 矢吹町バンド連合会（矢吹町）

事業の目的

県内外各地のご当地アイドルによる地域の魅力を発信するイベントの開催、SNS 等による情報発信、通信紙の発行及び写真展の開催を通して、しらかわ地方を県内外へ広く PR するとともに、県外で開催されるイベントにおいて、ご当地アイドルメンバーの目を通した本県の状況を伝えることで、震災による風評の払拭を図った。

事業の内容

- 事業内容：
- 地域イベントの開催
 - ・しゅんらん春まつり、Locodle Sonic!! 計 4 回
 - 地域情報の発信
 - ・ USTREAM 配信 定例 18 回、特別編 3 回 ・通信紙発行 2 回
 - 県外での情報発信
 - ・首都圏での情報発信 計 6 日 ・他被災地との連携 計 2 回

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)				1,852 (1,761)	2,105
補助金				841	1,000

＜ご当地アイドルイベントの様子＞



＜首都圏での特産品 PR＞



事業の成果・効果

アイドルイベントの入場者は合計 384 名と、目標総 240 名を大きく上回る結果となった。作成した通信紙や、イベント来場者の SNS による情報発信等で、県南地域を広く PR することができた。

今後の展開等

- ・クラウドファンディングを活用した資金調達による自己財源の確保
- ・作成した通信紙による更なる情報発信

(7) 次世代によるローカルメディア創造事業

一般枠

【実施団体名】 次世代によるローカルメディア創造事業実行委員会（白河市）

継続 2 年目

事業の目的

震災から 6 年目を迎える県南地方の現状を県内外に広く発信し、震災による風評の払拭及び震災の記憶の風化を防ぐとともに、将来的に継続して本県情報を対外に発信し続ける人材の育成を目的に、県南地方の高校生有志を対象にローカルジャーナリストの育成を図った。

事業の内容

- 事業内容：
- 飯舘村・国見町取材（7/28）
 - 白河市除染取材（8～9 月）
 - フリーペーパー「ヨリミチ」完成（10 月末）
 - フリーペーパーオブザイヤー出展・配布@大阪・京都（11/18）
 - メンバー募集ワークショップ（2/25）
 - 高校生のための時刻表完成（3/30）

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)			1,167	1,054	1,950
補助金			756	700	1,300

<内堀知事と高校生ローカルジャーナリスト>



<取材の様子>



事業の成果・効果

メディア関係者を講師に、情報発信について学ぶとともに、高校生の目を通した県南地方の今を紙媒体とウェブ媒体で全国に発信し、ウェブは月平均 1,123view と目標を順調に達成した。また、フリーペーパー「ヨリミチ」や「時刻表」を制作、配布を行うことができ、ローカルジャーナリストの育成の成果が表れてきた。

今後の展開等

- ・ヨリミチ第 2 号の制作
- ・地方からの情報発信を志す全国の高校生・大学生との交流

(8) ふくしまの「人と地域」の魅力発信事業

一般枠

【実施団体名】 特定非営利活動法人表郷ボランティアネットワーク（白河市）

継続 2 年目

事業の目的

県南地方の魅力の再発見、交流人口拡大及び若年層の移住・定住促進を目的に、路線バス専用道路「白棚線」等の地域の宝（地域資源）を活用した PR や、事業参加者と地域住民の交流の場を設けることにより、地域の活性化を図った。

事業の内容

事業内容：

- カレンダープロジェクト（6～12 月）
- 地域交流事業（かかしまつり（撮影会、講演会、交流会））の開催（9/23・24）
- 白棚線沿線情報紙「はくほ」の発行（8 月、3 月）

総事業費：

（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）		1,124	1,160	1,580
補助金		740	671	1,020

<かかしまつりの様子>



<情報紙「はくほ」>



事業の成果・効果

カレンダーや年 2 回発行した情報紙では、中高生にも参加してもらい、多世代の交流が図れた。かかしまつりには延べ 120 人の参加があり、地域を知らない人に情報発信することができた。

今後の展開等

- ・協賛企業・団体の獲得による、カレンダー及び情報誌の定期発行

(9) 街なかカルチャー教室 未来の担い手育成事業

一般枠

【実施団体名】 街なかカルチャー教室実行委員会（白河市）

継続 2 年目

事業の目的

県南地方の交流人口拡大を目的に、夏休み期間中に県南地方、栃木県及び茨城県等の住民を対象とした料理教室や DIY 教室等のカルチャー教室を開催した。また、カルチャー教室の企画・実施希望者を募集し、カルチャー教室実施までのサポートを行うことにより、将来の地域づくりの担い手育成を図った。

事業の内容

事業内容：

- 開催期間：〈夏〉7～8 月、〈秋〉11～12 月、〈冬〉2～3 月
- 講座数：〈夏〉31、〈秋〉21、〈冬〉20 合計 72 講座
- 参加者：〈夏〉171 人、〈秋〉148 人、〈冬〉141 人 合計 460 人

平成 29 年度は、開催期間を増やすとともに、講師に対し講座の進め方や実施方法についてアドバイスをを行うなど、講座の内容の充実度を高めた。

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)			624	677	1,002
補助金			395	394	676

事業の成果・効果

全 72 講座を実施し、460 名が参加した。参加者が中心市街地を訪れることで、回遊性や賑わいの創出につながった。郡山市や那須町からの参加者もあり、取組みが広く認知されつつある。また、講師として参加を希望する方もおり、地域づくりのプレイヤーの発掘に寄与している。

＜カルチャー教室の様子①＞



＜カルチャー教室の様子②＞



今後の展開等

- ・カルチャー教室をきっかけとした、受講生同士又は受講生と講師とのコミュニティの形成
- ・複数回実施する講座の開設

(10) 農商工連携事業「しらかわ応援団プロジェクト」

一般枠

【実施団体名】 夢みなみ農業協同組合青年連盟しらかわ地区（白河市）

継続 2 年目

事業の目的

白河商工会議所と連携し、首都圏在住者を対象に白河市内で田植えや野菜の収穫といった農作業を体験し、生産者と交流することで、県産農産物の安心・安全を PR し、風評の払拭を図った。また、平成 29 年度は観光 PR を目的に、ご当地ヒーローの「ダルライザー」を描いた田んぼアートを制作した。

事業の内容

- 事業内容：
- 田んぼアート（6～9月）
 - 田植え体験（5/28）
 - 野菜種まき・収穫体験、そば打ち体験（7/8）
 - 稲刈り（9/24）
 - 酒仕込み体験（11/26）
 - 新酒お披露目会（3/4）

総事業費：	（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）			3,280	3,513 (3,488)	3,493
補助金			2,185	1,627	1,630



事業の成果・効果

参加人数は 151 名であり、目標の 200 名はほぼ達成された。オーナー制度により首都圏から人を呼び込むことができたと同時に、体験を通じた白河地方農産物と商工業の PR ができた。また、白河市有数の観光地である南湖公園に程近い田んぼで、田んぼアートを制作し、更なる観光誘客を図ることができた。

今後の展開等

- 参加者増加に向けた展開
- ・周知方法の見直し
 - ・事業内容のブラッシュアップ
 - ・応募方法の検討

(11) 全国から「しらかわ」に集まれ! 元気なジュニアゴルファー育成プロジェクト

一般枠

【実施団体名】 全日本小学生ゴルフトーナメント in しらかわ実行委員会（棚倉町）

継続 2 年目

事業の目的

LPGA（日本女子プロゴルフ協会）との協力により全国からゴルフが大好きな小学生を「しらかわ（県南地方）」に集め大会を開催し健全なジュニアゴルファーの育成を目指した。また、「ゴルフタウンしらかわ」と連携した県内外への PR により、しらかわ地方と本県における風評の払拭及び地域の活性化を図った。

事業の内容

事業内容：

- 全日本小学生ゴルフトーナメント in しらかわ
 - ・日時：平成 29 年 10 月 8 日（日）
 - ・場所：棚倉町 棚倉田舎倶楽部
 - ・参加人数：93 名

総事業費：

（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）		11,489	14,352 (11,722)	11,665
補助金		7,000	7,000	7,000

＜開会式の様子＞



＜地元の秋祭りで使用する御神輿も登場＞



事業の成果・効果

大会ホームページのアクセス件数が 11,320 件（9 から 10 月の 2 ヶ月）であり、全国のジュニアゴルファーに「しらかわ」を知ってもらうことができた。また、地元製品の PR のために大会関係者に白河産の新米の配布などを行うことで、原発事故による風評被害の払拭と観光振興につながる効果が上げられた。

今後の展開等

- ・ 周辺自治体と連携した地域の PR
- ・ ゴルフ場だけでなく、周辺地域へ回遊を促す取組みの検討
- ・ 地区大会の充実

(12) うつくしま絆づくりプログラム

一般枠

継続 2 年目

【実施団体名】 うつくしま絆づくりプログラム実行委員会（矢吹町）

事業の目的

東日本大震災による県南地方への避難者の不安とストレスの緩和及び地域住民との交流促進を目的に、伝統文化をテーマとするアーツスクールを開催した。また、平成 29 年度は、姉妹都市交流でかねてから交流の盛んな東京都三鷹市の文化団体を対象とした体験ツアーを開催し、本県の魅力と県産農産物の安全性を PR した。

事業の内容

- 事業内容：
- アーツスクール（6 月～3 月）
 - ・教室：漆芸、陶芸、野焼き、子供絵画ワークショップ 計 31 回
 - ・参加者：地域住民、避難者など 計 354 名 ・作品展：来場者数 405 名
 - 三鷹市民 おいしい矢吹体験ツアー（8/3）
 - ・内容：野菜収穫体験、放射性物質検査見学、町内会展覧会見学
 - ・参加者：東京都三鷹市の文化団体 30 名
 - 地元産農産物と芸術を楽しむ会
 - ・参加者：地域住民等 179 名

総事業費：	（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）			2,305	1,847	1,784
補助金			1,450	987	939

<三鷹市民対象のバスツアー>



<陶芸教室の様子>



事業の成果・効果

小学生から高齢者まで、延べ 968 名が参加し、800 名以上が参加するという目標を順調に達成した。芸術文化活動では、活動を通じて交流人口の拡大が図られ、事業外に広がりを見せつつある。

今後の展開等

- ・多くの参加者を募るために周知の徹底
- ・事業継続のために協力者の増員及び参加費の有料化

(13) ご当地グルメ対決! 「県南 S-1 グランプリ in たいしん」

一般枠

【実施団体名】 県南 S-1 グランプリ実行委員会（白河市）

継続 3 年目

事業の目的

白河市大信地区の賑わいづくり及び風評払拭のため、県南地区 11 商工会青年部が協力して、県南地方各地のご当地グルメを集めたイベントを開催し、優れたグルメを「S-1 グランプリ」（S は“食”、“商工会”“青年部”“しらかわ地方”の S）として選定することで知名度向上を図り、しらかわ（県南）地方の食の魅力を広く PR した。

事業の内容

事業内容： ○県南 S-1 グランプリ in たいしん（8/27）
・ 県南地方 11 商工会青年部によるご当地グルメ対決
・ 「第 2 回県南地区ご当地キャラクターフェスティバルの開催」
・ 伝統芸能の継承や親子太鼓教室の開催 ・ 地場産業や技術の展示・PR
※平成 29 年度は、考案したご当地グルメを実際の販売ルートに乗せるため、首都圏のイベントで販路開拓モニター調査を実施した。

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)		2,209	6,026 (5,093)	4,199 (3,872)	
補助金		1,369	2,930	1,885	

<会場の様子①>



<会場の様子②>



事業の成果・効果

延べ 15,500 名が来場し、目標としていた 5,000 名を順調に達成した。当該事業を通じ、地域の魅力を発信することで、地域資源の再確認がなされたとともに、開発による経済普及効果を生み、震災以後の消極的な考えから前向きに生きる精神を養うことができた。

今後の展開等

- ・ 他のイベントのタイアップ事業として実施
- ・ 管内商工会青年部や商工会議所青年部との一層の連携

(14) わくわく東白川ご当地キャラ祭 in たなぐら

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 わくわく東白川ご当地キャラ祭 in たなぐら実行委員会（棚倉町）

事業の目的

東日本大震災や原子力災害による風評被害で直接・間接的に被害を受けた地域住民及び地域産業の復興を足がかりとするため、県南地方をはじめ県内各地のご当地キャラを一堂に集めたイベントを、棚倉城跡を中心に開催した。

事業の内容

事業内容： ○わくわく東白川ご当地キャラ祭 in たなぐら（10/29）
・ご当地キャラ PR イベント・PR ブース（34 体のご当地キャラ）
・東白川各町村による農産物・物産品販売コーナー
・伝統文化・芸能発信コーナーなど
※平成 29 年度は、東白川郡内の町村と連携しながら、地元高校生が開発した商品の販売や、地元産業の PR により、活性化を図った。

総事業費：	（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）		9,753	11,373	9,942	
補助金		5,000	4,600	3,250	

＜ご当地キャラとのふれあい＞



＜大道芸人のパフォーマンス＞



事業の成果・効果

雨天によりご当地キャラを中心としたイベントが実施できず、十分に地域産業の持っている魅力・活力を発信することができなかった。来場者数は 2,000 名であり、目標は順調には達成しなかった。しかし、東白川郡を中心とした飲食業者等に出店してもらったことで、産業の活性化を実現できたと同時に、ご当地キャラを招いたことで地域間交流を促進することができた。

今後の展開等

・今年度、郡内を中心とした飲食業者の出店を契機として、食にテーマを当てた企画の検討

(15) 日本のふるさと発見プロジェクト in 東白川

一般枠
 (過疎・中山間地域)

新規

【実施団体名】 特定非営利活動法人あぶくまエヌエスネット（鮫川村）

事業の目的

誰でもいつでも来られる「自分だけのふるさと」を創り出し、交流人口拡大及び移住者の増加を目指し、首都圏在住の外国人観光客や留学生、米作りに関心のある日本人を対象に、日本の農村ならではの農・食・文化体験として、休耕田を活用した米作り体験を基本に、山村での交流事業を実施した。また、活動の PR もかねて、首都圏で出前交流会を開催し、地場産の野菜や米を活用した田舎料理をふるまい、交流を図った。

事業の内容

事業内容：

- 山村交流事業@鮫川村
 - ・5/6~7 12 名
 - ・7/8~9 3 名
 - ・12/2~3 4 名
- 出前交流会
 - ・6/3(@台東区) 12 名
 - ・9/2 (@川崎市) 15 名

総事業費：

(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)			682	
補助金			428	

<山村交流事業の様子>



<出前交流会の様子>



事業の成果・効果

当初多くの外国人参加者を誘致しようと考えていたが、延べ 6 名と思うように参加者が集まらなかった。しかし、リピーターの参加があり、再度東白川郡に来る様子をうかがうことができ、故郷を作る・発見するという目標は達成できた。また、東白川郡の中山間地域での休耕田や、放置された農地・山林など都会から人が訪れたために環境保全を行うことができた

今後の展開等

- ・ツアーやイベント形式とは異なる、地域とつながりを作り、持ちつもたれ角関係を構築する
- ・関係団体との連携による周知の強化

(16) 小高ふれあいの森公園づくり

集落等活性化枠

新規

【実施団体名】 埴町小高地区（埴町）

事業の目的

世帯数が減少している埴町小高地区において、地域の賑わいづくり及び交流人口拡大のため、地区の中心となる場所へ、住民はもとより地区外の住民との交流やイベントを開催できる公園づくりを実施した。

事業の内容

- 事業内容：
 前年度作成した図面に基づく、公園の整備

 - 雑木の伐採・整理・処分
 - 敷地の整地
 - 遊歩道の造成
 - 植木の植栽
- ※H28 は計画策定事業

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
	事業費 (補助対象)		242	993	875
	補助金		241	992	875

事業の成果・効果

ふれあいの森公園づくりの土台がほぼ完成し、目標は達成されたと同時に、区民の意識の高揚を図ることができた。また、小高地区への関心や活気が高まり、他地区・他町村からの訪問客が増えたうえに、一度離れた若者たちも U ターンを予定している世帯も出てきた。



今後の展開等

- ・花まつりを開催し、農作物・陶芸・工芸品の販売
- ・東屋を建築する上で必要な費用・人員の調整

(17) 矢塚地区交流推進事業

集落等活性化枠

継続 2 年目

【実施団体名】 一般社団法人矢塚明日香塾（埴町）

事業の目的

少子高齢化により地区の住民の 7 割以上が高齢者である埴町矢塚地区の交流人口拡大と地域住民の生きがい作りを目的に、地域住民の心のよりどころである矢塚分校（旧片貝小学校）、第 1 希望の森（学校裏）及び第 2 希望の森（からまつ峠）を整備・活用し、ミニサロン等を開催した。

事業の内容

- 事業内容：
- 第 1 希望の森（学校裏）、第 2 希望の森（からまつ峠）の草刈り
 - 地区内外の高齢者を対象としたミニサロン
 - ふるさとカフェ矢塚分校のオープン
 - 矢塚で採れた農作物の商品開発・加工
- ※平成 29 年度はふるさとカフェ矢塚分校がオープンし、地区内外から来訪者があり、交流人口の拡大が図られた。

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)			525	583 (578)	826
補助金			412	461	660

＜地区内外の高齢者を対象としたミニサロン＞



＜ ふるさとカフェ矢塚分校のオープン ＞



事業の成果・効果

ミニサロンに延べ 72 人の地区内外の高齢者が参加し、多くの高齢者に喜んでもらえた。また、カフェを 10 月にオープンすることができ、マスコミ等にも取り上げられた結果、週末の営業にもかかわらず、約 530 人の訪問客があり、地域に活気が出てきた。

今後の展開等

- ・更なる交流人口拡大に向けた効果的な周知
- ・地区で採れる農作物を使用した矢塚ブランド品の商品化と販売先、販売方法等の検討

(18)「しらかわの里山」魅力発信事業

健康枠

新規

【実施団体名】 しらかわ里山ネット（白河市）

事業の目的

震災による風評の払拭及び風化防止のため、しらかわ（県南）地方の里山を活用してトレッキング教室・写真教室を開催することで、地域の交流人口拡大と参加者の健康増進を図った。また、写真教室等で撮影された写真を中心に写真コンテストを開催し、しらかわ地方の里山の魅力を県内外に広く発信した。

事業の内容

事業内容：

- 里山トレッキング・写真教室（全 3 回）
 - ・ 4/23 参加者 60 名 ・ 6/11 参加者 60 名 ・ 11/23 参加者 15 名
- 写真コンテスト
 - ・ 応募者 37 名 応募作品 87 点

総事業費：

（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）			863	1,020
補助金			574	680

<里山トレッキングの様子>



<写真撮影の様子>



事業の成果・効果

写真教室等で 135 名、写真コンテストで 120 名が来場した。新規来訪者やリピーターが増加し、山林等に対する風評被害の払拭に効果が見え始めていると同時に、森林等の癒やし効果による精神的な安定や、運動による健康維持にも多少なりとも貢献できたと感じられ、目標はほぼ順調に達成した。

今後の展開等

- ・ 会員の意思疎通と体制強化を図る
- ・ 継続できる重点事業を選別
- ・ 健康と地域振興につながる事業の継続実施

(19) らふみーる（笑顔&食）コミュニティサロン

健康枠

新規

【実施団体名】 一般社団法人あんだんて（白河市）

事業の目的

希薄になってしまった地域コミュニティにおける絆づくり及び地域住民同士の交流を図るため、シニア世代・親子・子育て中の親を対象とした各種（健康体験、食育体験、文化体験）教室を開催した。

事業の内容

- 事業内容：
- 健康体操教室 毎月 2 回
 - 食育体験教室
 - ・料理教室 毎月 2 回
 - ・高橋シェフのおいしいレシピ講演会 10/27 開催 参加者 75 名
 - 文化体験
 - ・日本文化体験 10/28 開催 参加者 30 名
 - ・異文化体験 12/23 開催 参加者 75 名

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)				2,058	2,400
補助金				1,360	1,600



事業の成果・効果

効果的な周知活動と参加者の口コミにより、健康・食育体験教室に延べ 740 名が参加した。シニア世代が生きがいを持ち、地域の子供たちやベントに積極的にかかわるようになったことで、介護予防や健康増進につながっていった。また、これらが継続的に行われることによって地域コミュニティ全体の活性化の一助にもなった。

今後の展開等

- ・体験教室プログラムの更なる充実
- ・発展的な形で継続
- ・世代間交流事業の実施

(20) ツール・ド・しらかわ 2017

健康粋

継続 3 年目

【実施団体名】 ツール・ド・しらかわ実行委員会（白河市）

事業の目的

しらかわ地域が有する、伝統文化・特産物・交通の利便性・豊かな自然環境など、様々な財産を県内外に情報発信し、風評払拭と観光交流人口の増加、地域住民の郷土を愛する心の高揚を図るため、白河市及び西白河郡町村の観光名所を回るロングライドイベントを行った。

事業の内容

事業内容：

- ツール・ド・しらかわ 2017
 - ・日時：平成 29 年 10 月 9 日（月・祝）
 - ・参加人数：864 名
- ※平成 29 年度は、各チェックポイントにおいて収穫期を迎えた米や、果物、そばなど地域の産品を食べてもらい、しらかわ地域の良さを食の面からも PR した。

総事業費：

（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）	4,191	5,082	6,757 (6,618)	
補助金	1,200	1,242	1,527	

＜会場の様子＞



＜スタート時の様子＞



事業の成果・効果

延べ 864 名が参加し、前年度、前々年度と比較すると順調に伸びている。開催エリアとなった白河市及び西白河郡の地域が持つ魅力（地元民の人柄、名所、特産品など）に参加者が触れることによって、参加者を通じて、SNS や動画サイトで発信することができた。また、エイドステーションでは地元の特産品もふるまわれ、風評払拭に一役買っていた。

今後の展開等

- ・ 自主財源の確保と事業規模拡大の両立
- ・ より効果的な広報活動による、イベントへ参加することの楽しさ及び地域の魅力の PR

(21) 駅伝のまち しらかわ 推進プロジェクト

健康粋

継続 3 年目

【実施団体名】 しらかわ駅伝競走大会実行委員会（白河市）

事業の目的

東日本でも有数の駅伝大会として定着した「しらかわ駅伝」に併せ、地域住民がトップレベルのランナーとふれあう機会の創出や、県南地方の中学・高校生及び市民ランナーを対象としたランニングクリニック等を開催することで、2020 年東京オリンピックに向けた「駅伝の街しらかわ」のイメージによる発信と、地域のスポーツ振興を図った。

事業の内容

- 事業内容：
- 小学 5・6 年生を対象とした「ゴールデンエイジ陸上教室」
・ 7/24~28 開催 参加者 74 名
 - 中学生・高校生を対象としたランニングクリニック
・ 8/3・4 開催 参加者 66 名 指導者：藤田敦氏ほか
 - 陸上競技会を代表する選手によるスペシャルトークショー
・ 9/17 開催 参加者約 2,000 名 講師：柏原竜二氏

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)		1,894	1,389	1,350 (1,335)	
補助金		1,262	851	889	

<ランニングクリニック>



<スペシャルトークショー>



事業の成果・効果

合計して約 2,140 名が参加した。「駅伝のまち しらかわ」の発信を目的として開催した 4 つの事業全てにおいて、トップアスリートとの交流機会の創出、幅広い世代のスポーツ機会の創出、生涯スポーツの振興など一定の目標が達成されたと同時に、陸上競技をはじめの子や競技力の向上に努める子が出るなど本市のスポーツ振興に寄与している。

今後の展開等

- ・ 幅広い年齢層が参加する事業の実施
- ・ より効果的な周知・PR

(22) ゴルフで「しらかわ」の活力を高めるプロジェクト

【実施団体名】 NPO 法人ゴルフタウンしらかわ（白河市）

健康粋

新規

事業の目的

ゴルフ施設の環境に恵まれてる「しらかわエリア」の特色を活かし、生涯スポーツとして「ゴルフ」を楽しむきっかけを作り、ジュニアからシニアまで 3 世代にわたり、健康で生き生きと過ごせる地域づくりに取り組んだ。

事業の内容

- 事業内容：
- シンポジウム（10/9）
基調講演：中嶋常幸プロ アンケート回答 39 名
 - スナッグゴルフ体験会（10/15）
参加者約 30 名
 - ゴルフ場体験会（3/27）
参加者 24 名

総事業費：	（千円）	H27	H28	H29	H30
	事業費 （補助対象）			944	
	補助金			628	

<スナッグゴルフ体験会>



<シンポジウム>



事業の成果・効果

シンポジウムは、周知不足の影響もあり、来場者数が低調であったが、来場者からはゴルフへの関心の高まりを感じることができた。ゴルフ場体験会で行ったノルディックウォークの講習会も好評で、ノルディックウォークを通じた健康増進意欲を高めることができた。

今後の展開等

- ・ノルディックウォークを取り入れた事業展開
- ・ゴルフを通じた健康への関心を高める事業の推進

(23) 定住自立圏復興人材確保・育成事業

市町村枠

継続 3 年目

【実施団体名】 「ふれあいの場」 創出事業実行委員会（県南 9 市町村）

事業の目的

震災・原発事故による風評被害を払拭し、復興を担う人材を確保・育成するため、「しらかわ地域定住自立圏」による復興情報の発信や、出会いの場の創出等に取り組む事業を行なった。

事業の内容

事業内容：

- 「出逢いふれあい」イベント
 - ・ 4 回（7/22・23、9/30・10/1、12/2、2/3）開催
 - ・ 延べ 216 名参加 39 組カップル誕生
 - ・ 各回にセミナーを開催

 ※平成 29 年度は、地域全体で結婚への意識改革を行うため、婚活イベントに併せてセミナーを開催した。

総事業費：	（千円）	H27	H28	H29	H30
	事業費 （補助対象）	7,254	7,592	7,554 (7,460)	
	補助金	5,250	5,250	4,926	

<セミナーの様子>



<交流会の様子>



事業の成果・効果

年 4 回のイベント開催で延べ 216 名が参加し、39 組のカップル(平均カップル率 46.4%) が誕生した。セミナー開催による意識改革と併せ、今後の福島県、引いては県南地域の復興を担う人材の確保・育成に努めることができた。また、結婚という個人の問題に行政が継続して取り組んでいることを PR できたため、地域全体で結婚に向けた機運の醸成を図ることができた。

今後の展開等

- ・ 専門のスタッフを配置し、アドバイス兼アフターフォローを図る
- ・ イベント以外でも相談できる人材の確保
- ・ 独身者への効果的な周知

(24) しらかわ風評払拭・地域産業復興促進事業

市町村枠

継続 2 年目

【実施団体名】 白河市（白河市）

事業の目的

震災・原発事故による風評被害を払拭し、地域産業の復興につなげるため、「白河市みらい創造総合戦略」に基づき、「新規創業」に向けた育成・支援を行った。また、首都圏での地元企業の情報提供等の情報発信を通して販路回復・拡大を図るとともに地元金融機関と連携して各種展示会及び商談会等へ出展し地元企業の PR を実施した。

事業の内容

- 事業内容：
- UIJ ターン就活支援事業
 - ・都内大学等 20 校を訪問し、市内事業所と就活支援制度の案内
 - 認定創業支援事業
 - ・創業応援塾（全 2 回） 延べ 17 名参加
 - ・経営ワントップ相談会（全 3 回） 相談件数 21 件
 - ・女性のためのプチ起業セミナー（全 5 回） 延べ 87 名参加

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)			7,232	7,627	10,435
補助金			4,601	5,448	7,825

事業の成果・効果

新規創業者数 7 名、県外への展示に出展する企業数 11 社は目標を達成したが、UIJ ターン相談件数は 21 名であり、目標に達しなかった。また、創業者の支援・育成や地元の企業・産業の情報発信による UIJ ターンの促進、行政と金融機関の連携による展示・商談会での事業 PR・取引拡大を支援するなど若者や女性の定住に結びつけることができた。

<ビジネスマッチング>



<起業セミナー>



今後の展開等

- ・都市部の学生等に PR する方法の検討
- ・金融機関のノウハウを活用した小中学生への啓発事業
- ・創業支援機関と連携した支援体制強化

(25) いずみざき風評払拭・地場産品販路回復推進事業

市町村枠

継続 3 年目

【実施団体名】 泉崎村（泉崎村）

事業の目的

現在も続く原子力災害の風評被害による農家にとって厳しい状況を改善するため、村の魅力を
対外へ発信することを目的に、近隣市町村の産品も含めた地場産品イベント「泉崎村収穫感謝
祭」を開催した。

事業の内容

事業内容：

○泉崎村収穫感謝祭 10/29 開催 来場者 1,500 人

※平成 29 年度は、上記の中で、世代間交流の推進につながる取り組みも行った。

総事業費：

(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)	10,498	4,113	3,786 (3,775)	
補助金	7,873	2,714	2,830	

<イベントの様子>



<イベントの様子>



事業の成果・効果

来場者数は 1,500 名であり、来場者数が年々増加していることから泉崎村の魅力を PR する目
的は一定の成果を得られた。風評の被害払拭についても、地元農産物を使用した大鍋や、新鮮
な農産物等を販売したこと等により、安全・安心を PR することができた。また、友好自治体
の長野県下條村を始め、他団体と関わりを持つことで、地域振興の発展に寄与できた。

今後の展開等

・村の財源を使用した事業継続

(26) やぶき観光復興推進事業

市町村枠

継続 3 年目

【実施団体名】 矢吹町（矢吹町）

事業の目的

震災・原発事故による風評被害で減少した観光誘客の回復を図るため、夏及び秋に「やぶき大祭り」を開催し、伝統文化の継承・賑わいの創出、風評払拭を図った。

事業の内容

事業内容：

- 夏祭り（第 1 弾） 7/29 開催 来場者 3,000 人
- 夏祭り（第 2 弾） 8/5 開催 来場者 6,500 人
- 秋祭り（第 3 弾） 9/10 開催 来場者 15,000 人

※平成 29 年度は、光南高校や観光案内所と連携したことで、趣向を凝らした企画を行うことができ、町内外からの集客につながった。

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)		11,500	12,432	11,500	
補助金		8,562	7,535	8,625	

＜夏祭りの様子＞



＜秋祭りの様子＞



事業の成果・効果

「やぶき大祭り」への目標参加者数 2,5000 名に対し、24,500 名の参加者数があり、ほぼ順調に目標は達成された。参加者数が増加したことで地域経済にプラスの効果があったほか、太鼓の共演、祭りを通した各種団体との交流等により、文化面においても町への愛着や誇りの醸成に寄与することができたと同時に、メディアにより矢吹町の良さを大きく PR することができた。

今後の展開等

- ・ 自主財源で実施
- ・ 運営面の検証による改善

(27) 棚倉町観光復興事業

市町村枠

継続 3 年目

【実施団体名】 棚倉町（棚倉町）

事業の目的

震災・原発事故に伴う風評事故により減少した観光誘客の回復を図るため、棚倉藩の歴史にスポットを当てたイベントを開催した。

事業の内容

事業内容：

- 奥州棚倉藩評定とバスツアー 10/7・8 開催
- 棚倉町文化財展と大茶会 9/30・10/1 開催
- 棚倉の歴史発見事業 12/3 開催
- 棚倉城下レトロ町歩き 3/3・4 開催

※平成 29 年度は、国史跡に流廃寺、国重要文化財に馬場都々古別神社が指定されたことを活用し、観光客に町内を回遊してもらうため、町内の寺社と連携して事業を行った。

総事業費：

(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)	10,158	10,639	7,403	
補助金	7,618	7,979	5,552	

事業の成果・効果

サミット・文化財展・大茶会への参加者が 201 名以上であり目標はほぼ順調に達成した。また、町内外、県内外からの参加者が多数いたことで地域経済の活性化が図られ、町内を回遊するイベントにすることで、町の歴史的魅力を知るきっかけになった。

＜奥州棚倉藩評定の様子＞



＜レトロ町歩きの様子＞



今後の展開等

- ・更なる誘客を望めるような事業を検討
- ・商店会や町民と協力しながら事業を固定化

(28) 矢祭町復興人材確保・育成事業

市町村枠

継続 3 年目

【実施団体名】 矢祭町（矢祭町）

事業の目的

震災・原発事故からの復興に向け、復興を担う人材を確保・育成することに加え、人口減少に歯止めをかけるため、独身者に対する結婚情報提供等の支援を行い、若者の定住促進を図った。

事業の内容

事業内容：

- イベントの実施 12/16・17 開催 ほか
- おしゃべりカフェの開設 毎月第 3 水曜日
- コミュニケーションインストラクターによる婚活塾 3/4 開催
- 登録制度の紹介事業 紹介件数 56 件、お見合い件数 5 件

※平成 29 年度は、町社会福祉協議会の施設である「地域見守りふれあい拠点施設」等を活用し、気軽に相談できる体制作りを目指した。

総事業費：	(千円)	H27	H28	H29	H30
事業費 (補助対象)		6,452	6,849	3,248 (3,237)	
補助金		2,643	2,582	2,427	

＜婚活塾の様子＞



＜婚活イベントの様子＞



事業の成果・効果

紹介件数 50 件、成婚件数 5 組が目標であり、紹介件数は 56 件で達成したが、お見合い件数は 5 件、成婚件数は 0 組で目標には届かなかった。町全体で支援することで、地域ぐるみの結婚に対する意識改革をし、若者の定住・結婚・出産・子育てと、支援をすることが人口減少に歯止めをかけることにつながっていくと考えている。

今後の展開等

- ・町費で対応し、事業継続
- ・各定住自立圏での結婚支援事業への参加
- ・広域での紹介事業を強化
- ・結婚事業の内容をさらに PR

(29)
 里山景観資源を活用した観光復興事業

市町村枠

継続 3 年目

【実施団体名】
 鮫川村（鮫川村）

事業の目的

震災・原発事故に伴う風評被害を払拭し、減少した観光誘客の回復を図るため、農村の原風景である里山景観の磨き上げを行った。

事業の内容

事業内容：

- 景観維持活動の実証事業（通年）
- 担い手育成等検討協議会の開催

※平成 29 年度は、村の復興の担い手の育成のため、協議会により担い手組織の検討を実施した。

総事業費：

（千円）	H27	H28	H29	H30
事業費 （補助対象）	10,692	5,238	5,862	
補助金	8,019	3,457	4,685	

<景観維持活動実証事業>



<担い手育成等検討協議会>



事業の成果・効果

景観維持活動の実証事業、クラインガルテン実施希望者の勉強会等を通じて、実施希望者の遺構を把握でき、今後、実施に向けた展開が可能となった。さらに、温泉活用基本構想も完了し、温泉活用の方向性も示された。

今後の展開等

- ・ 里山景観維持の担い手育成
- ・ 温泉を活用した地域活性化事業